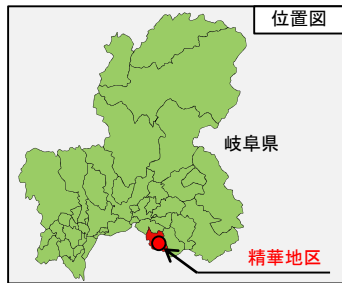


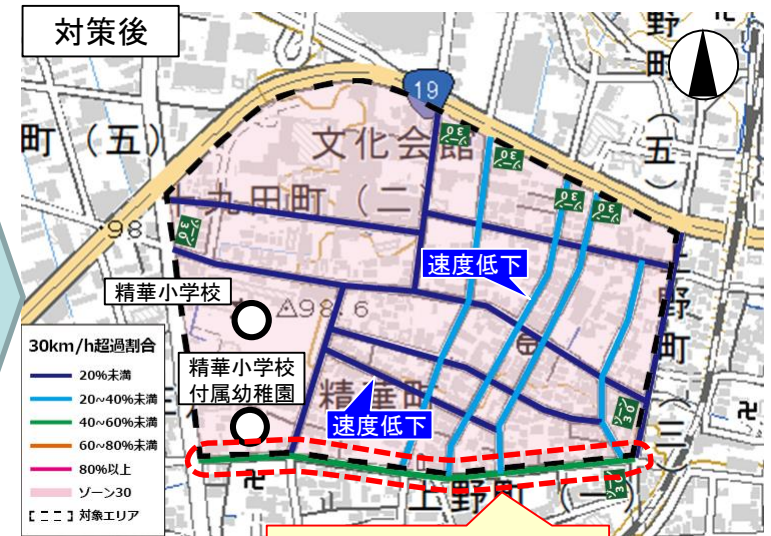
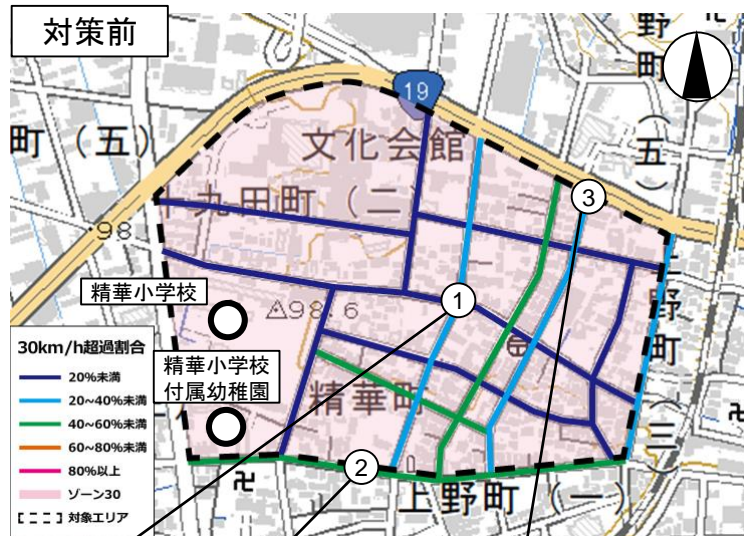
# 「生活道路対策エリア」の取組事例(多治見市精華地区の事例) せいか 狭さく・路肩カラー舗装・ ゾーン30明示・イメージハンプ

- 通学時間帯において抜け道利用している車両があるため、抜け道利用車両に対する進入抑制を実施(ゾーン30明示)
- 規制速度を超えた速度で走行している車両があるため、速度抑制を実施(狭さく、イメージハンプ、路肩カラー舗装)
- 進入抑制対策、速度抑制対策を実施した小学校南側路線で、30km/h超過割合が5ポイント減少し速度抑制効果が発現

## 取組概要



## ビッグデータ分析結果



小学校南側路線  
30km/h超過割合 5ポイント減少

## 整備状況



①外側線による狭さく ②狭さく、路肩カラー舗装・イメージハンプ ③ゾーン30明示

## 整備効果

|     | 30km/h超過割合   |             | 平均速度         |             |
|-----|--------------|-------------|--------------|-------------|
|     | エリア内<br>路線平均 | 小学校南側<br>路線 | エリア内<br>路線平均 | 小学校南側<br>路線 |
| 対策前 | 23.7%        | 47.3%       | 19.7km/h     | 25.8km/h    |
| 対策後 | 22.7%        | 42.3%       | 19.7km/h     | 24.2km/h    |

(▲1.0%) (▲5.0%) (±0km/h) (▲1.6km/h)

【出典】1. 履歴点データ：ETC2.0プローブデータ (30km/h超過割合) 【対策前】H27.5~10 【対策後】H27.12~H28.5  
2. 背景地図：国土地理院